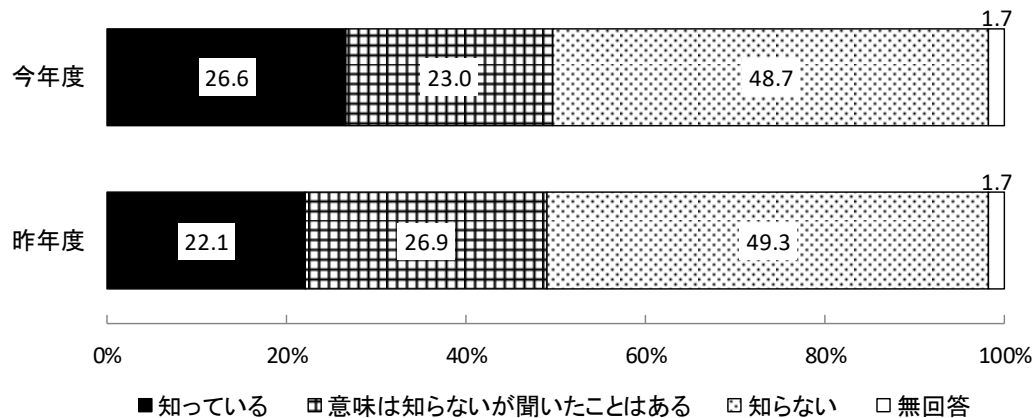


16. 多文化共生について

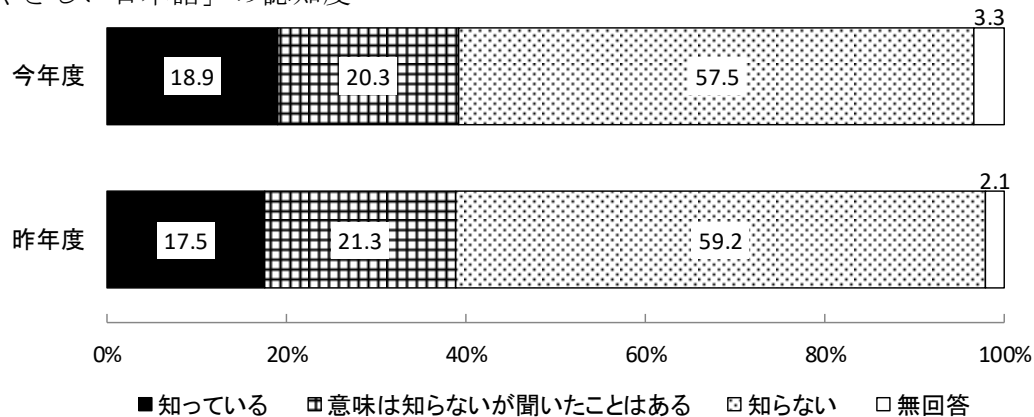
16-1. 多文化共生の認知度

Q16-1 あなたは、「多文化共生」（地域で暮らす外国人と日本人が互いを認め合い共に暮らしていくこと）、及び「やさしい日本語」（普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと）という言葉を知っていますか。（〇はそれぞれ1つ）

(1) 「多文化共生」の認知度



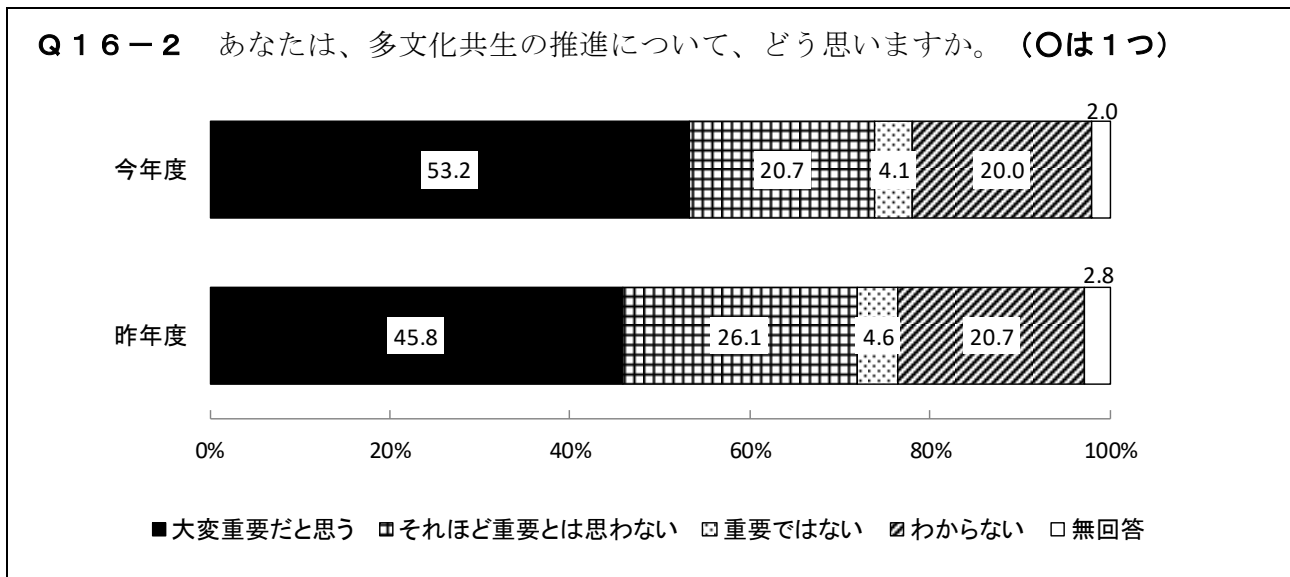
(2) 「やさしい日本語」の認知度



多文化共生の認知度について、「知っている」が 26.6%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 23.0%、「知らない」が 48.7%となっている。昨年度と比較すると、「知っている」は 4.5 ポイント上昇し、「意味は知らないが聞いたことはある」は 3.9 ポイント低下している。

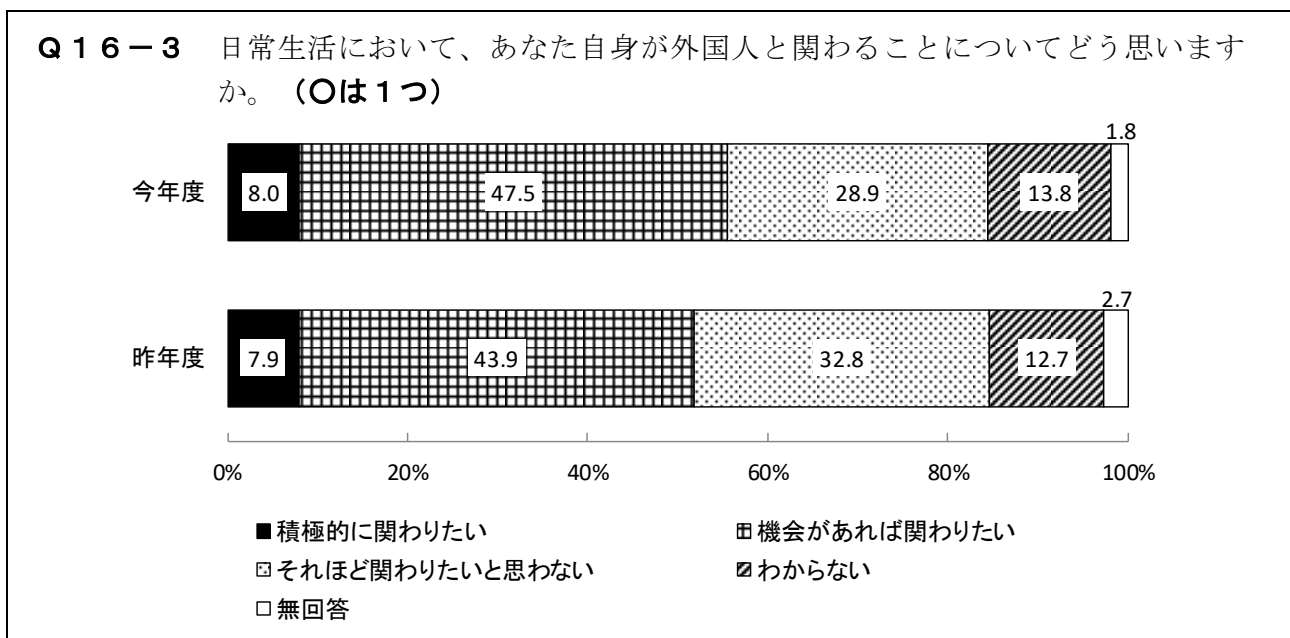
やさしい日本語の認知度について、「知っている」が 18.9%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 20.3%、「知らない」が 57.5%となっている。昨年度と比較すると、同程度で推移している。

16-2. 多文化共生の推進



多文化共生の推進について、「大変重要だと思う」が53.2%と最も高く、次いで「それほど重要とは思わない」が20.7%、「わからない」が20.0%、「重要ではない」が4.1%の順となっている。昨年度と比較すると、「大変重要だと思う」が7.4ポイント上昇し、「それほど重要とは思わない」が5.4ポイント低下している。

16-3. 日常生活で外国人と関わることについて



日常生活で外国人と関わることについて、「機会があれば関わりたい」が47.5%と最も高く、次いで「それほど関わりたいと思わない」が28.9%、「わからない」が13.8%、「積極的に関わりたい」が8.0%の順となっている。昨年度と比較すると、「機会があれば関わりたい」が3.6ポイント上昇し、「それほど関わりたいと思わない」が3.9ポイント低下している。